



# 大いちょう

平成29年 6月 1日

さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 平成29年度 No. 3

048 (829) 2737

## いじめを起こさない三つのこと

校長 石山 大介

世界遺産の一部である東照宮を代表する陽明門は、金、赤、青、緑、黒などで彩られた彫刻が胡粉（ごふん）の白でさらに鮮やかに浮き立ち、日光の新緑の中に勇壮で麗しい佇まいを見せていました。特にその真っ白な胡粉の輝きは修復直後だけのもので、時間とともに褪せていってしまいます。三猿で有名な神厩舎には、本物の神馬も繋がっていました。男体山に見守られながらの戦場ヶ原散策。絶好の天候。

これらは、この修学旅行を自分たちの成長につなげようと頑張った6年生への、日光の神様からのご褒美だったと思います。

その成果の一つは、東照宮に入る前、151人が集合した時の態度に表れていました。

誰一人としてしゃいで大声を出すこともなく、整然と移動して列を作りしゃごむ。顔を前に向けて集中して先生の指示を聞く。その姿からは、自分の国の遺産を大切にしようとする心さえ感じさせるものでした。真剣で静か。そして意欲的な態度でした。私は、高砂の子どもたちを誇りに思い、自分の鼻を少し高くしていました。

わずか二日間でたくさんのことを学び成長して帰ってきた6年生。高砂のリーダーとしてのさらなる活躍に期待しています。

さて今月は「いじめ撲滅月間」。さいたま市のどの学校でも、いじめ撲滅のための取り組みを行っていますが、保護者・地域の皆様とも手を取りながら、いじめが起きないように取り組んでいかなければなりません。

先日、30日（火）に月に一度の全校講話朝会を行いました。今回は、いじめを起こさないために、3つのことを話しました。

「まず、お友だちのよいところを見つけてください。人間は弱い生き物だから、ついつい他人の欠点ばかりを見てしまいがちです。しかし人には必ず良い所があるのです。それを見ていってください。立場を変えて考えればすぐに想像できますね。

二つ目です。他人の悪口を言わないことです。悪口は、いじめの始まりです。

そして三つ目です。皆さん一人ひとりが希望をもって爽やかに毎日を生きてください。私は長く中学校に勤務していました。いじめの指導に関わることもありました。

そこから感じたのは、全てに当てはまることではありませんが、少なくとも自分の将来・未来に希望をもって努力している人は、いじめをしたり、いじめに関わったりしていませんでした。

そして、もし、辛い思いをするような時には、話しのできるお友だちや先生、周りの大人に相談してください。お友だちが悩んでいたたりSOSを発していたら、必ず同じように相談をしてください。先生たちといっしょにその人を守ります」と。

このお話し、低学年の子どもたちもとてもよく聞いてくれていました。

保護者、地域の皆様と手を携え、夢や希望をもって努力するさわやかな高砂の子どもたちを、さらにたくさん育てていきたいです。

夏を思わせる空気がやってきました。まだ暑さに慣れていない時季です。熱中症等に十分注意して生活しましょう。5年生はこの土曜日から2泊3日の自然体験活動に出発します。無事の帰校を祈っています。行ってらっしゃい。安全第一ですよ。